



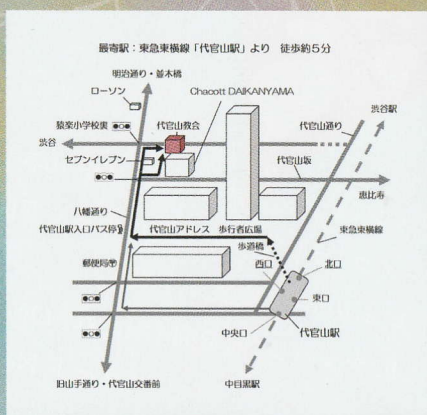
田原 さえ Saée Tahara

仙台市出身。武蔵野音楽大学・同大学院を経て、1990年ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学修了、オーストリア政府芸術修士を取得。同大学ではピアノ室内楽及びドイツ歌曲の解釈と伴奏法を専攻し、1988年にはザルツブルグにおいてG.スズー氏のリサイタルでの伴奏者に抜擢された。帰国後はオーケストラとの協演をはじめ、ソロ、室内楽、伴奏と幅広い演奏活動を行っている。1992年以来、東京と仙台とで行うリサイタルは17回を重ねた。ザルツブルグでのI.ハッセ（フルート）とのデュオ・リサイタルや、ベルリン弦楽四重奏団、P.L.グラーフとの共演など国際的にも活動し、2008年6月にはブラハ放送交響楽団との協演も行った。また、公開レッスンなどでの通訳も数多くこなしている。

1978年、第22回全東北ピアノコンクール第1位及び文部大臣賞受賞。平成14年度宮城県芸術選奨新人賞及び平成29年度宮城県芸術選奨受賞。平成15年度には仙台市市民文化事業団主催による「Classic Live For You」のプロデュースを手掛けた。第2～8回仙台国際音楽コンクールでは、企画推進委員としてチャレンジャーズライヴのコーディネーターを務める。

また、発足25周年を迎える仙台バッハゼミナールの主宰や一般社団法人ミュージックプロデュースMHKSの設立など仙台を中心に様々な音楽活動を展開し、音楽を通して若手演奏家や子どもたちへの社会貢献にも力を注いでいる。fmいずみでの番組『be A-live!』では、毎月1回ゲストとして「田原さえの音楽ぞんまい!」のコーナーに出演中。2010年12月に初のソロCD「それは、懐かしい時の始まり」を、またP.L.グラーフ氏とのライヴCD「コンチェルティエノ」(2013年6月)、「リサイタル」(2018年12月)、「LEGEND IN FLUTE」(2022年4月)をリリース。同氏の著書『フルートの響きを豊かにする52の質問』翻訳(2021年7月)。

現在、昭和音楽大学、常盤木学園高等学校音楽科講師。(一社)ミュージックプロデュースMHKS理事。仙台バッハゼミナール代表。



代官山教会 東京渋谷区代官山 14-3

【東急東横線 ご利用】

代官山駅から歩道橋～代官山アドレスへは北口または西口をご利用ください。

【東急バス ご利用】

東急バス渋谷駅(東口)52番乗り場(渋谷ヒカリエ前)から「渋71」で「代官山駅入口」あるいは「鉢山中学校東」下車(220円)両バス停とも徒歩約2分。



楽楽楽ホール 仙台市太白区長町 5-3-2

【仙台市営地下鉄南北線 ご利用】

市営地下鉄南北線仙台駅から富沢行きで8分、長町駅で下車。南一番出口から直接建物の地下1階へ入れます。

【JR ご利用】

JR 仙台駅から東北線または常磐線、または仙台空港アクセス線 上り方面行きで4分、長町で下車。徒歩3分。